

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果及び指導の工夫について

大竹市立玖波学校

1. 全国学力・学習状況調査の結果

教科	平均正答率(%)		
	本校	広島県	全国
国語	62	58.0	58.1
数学	63	52	52.5

2. 重点課題

教科	重点課題
国語	○文章と図を結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈する力 → 図の種類や内容を分析し、本文と結び付けてその効果や役割を理解する力がついていない。
数学	○筋道を立てて考え、証明することができるかどうかを考える力 → 見通しを持ち、根拠を用いて説明しようとすることができていない。

3. 重点課題改善のための授業改善の取組

重点課題	【教科】	指導方法等の授業改善内容
【国語】 文章と図を結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈する力	【国語】	説明的文章の中で、資料と図を関連付けて関係を考えたり、適切な資料を選択させたりする。また、なぜ、その資料が効果的なのかを考えさせる。 話す単元や書く単元で、表現したい内容に説得力を持たすために、資料提示を必須条件にし、どんな資料を活用すればいいか考えさせる。
	【英語】	表やグラフで書かれていることを読み込み、英文の読解に入る。事実発問の後、推論発問をし、適切に英文を読み取る活動を取り入れる。
	【理科】	科学研究など行う際に、写真とスケッチどちらが適しているのか。また、表や図の選択など相手を意識して結果をまとめることができるようにする。日々の授業でもレポートを作成する等工夫して授業を行う。
	【社会】	「なぜ」発問(学習課題)への取組で、複数の資料を関連付けて読み取ったり考えたりできるよう、視覚的資料を充実させる(視覚化)。加えて、読み取りポイントを示し(焦点化)たり、既習内容との関連付けを促したりする。読み取り内容をペアや班で説明し合う(共有化)場面をこれまで以上に意図的に設定し、机間指導での切り返しや投げかけを丁寧に行う。
	【家庭】	具体物や写真、グラフなどを使い、視覚化する。洗剤による洗浄効果、ゆで野菜によるビタミンCの残存率など、具体的に示す。
	【美術】	作品とその作品が制作された時代の資料を用い、作品と資料との関係を考える活動を取り入れる。(例: 印象派とカメラ・チューブ式絵の具の開発・普及の資料を関連付けて表現方法の広がりを考えさせる。)
	【保体】	保健の授業において、図や表に書かれていることを分析し、自身の健康の保持増進に繋げることができるようにする。
【数学】 筋道を立てて考え、証明することができるかどうかを考える力	【数学】	図形の単元などで、根拠をもとに説明する活動を行う。やってみようと思える手立てを用意する。 見通しを持って取り組むことを繰り返し行う。
	【英語】	相手を意識し、筋道を立てて英語で表現することができるよう、基本的なスピーチの型を体得させる。
	【理科】	実験をする際に、仮設・実験・考察の流れを大切に行う。また、考察をするときには、根拠と分析から結論がいえるように指導する。考察の文型をつくるなどして、サポートしながら進める。
	【家庭】	「なぜ」の問いを大切に、根拠をもとに自分の言葉で説明するよう取り組む。個人→全体で共有する時間を設ける。
	【美術】	自身の作品について、「なぜその色を選択したか」などの理由を自分の言葉で他者に説明したり、文章に表したりする活動を積極的に取り入れる。
	【社会】	単元を貫く問いを解決するために、何がわかればいいのか筋道を立てて考える場面を設定する。「なぜ」発問(学習課題)への取組で、日常生活を意識した資料等複数の資料を関連付けて読み取ったり考えたりする際、根拠を示して説明するよう促す。
	【保体】	保健の授業において、自身の課題を「実生活と繋げて」、改善するための方法を具体的に考えさせる。